

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	岐阜市2170103705		
法人名	有限会社 ウィンドワード		
事業所名	グループホーム ひなたぼっこ		
所在地	岐阜市梅林南町 12番地 メゾンK 一階		
自己評価作成日	平成25年10月9日	評価結果市町村受理日	平成25年11月17日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaizokensaku.jp/21/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2170103705-00&amp;PrefCd=21&amp;VersionCd=022">http://www.kaizokensaku.jp/21/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2170103705-00&amp;PrefCd=21&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター ぴーすけっと
所在地	岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル
訪問調査日	平成25年10月24日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>施設の様子が梅林公園の前で、散歩するにも利用者の方が、疲れない距離で、四季の移り変わりも感じる事が出来る。周囲の環境も良い 又職員も定着し落ち着いている。職員の資格取得者は少ないが、どのような状況、状態の利用者の方が入所されても対応出来る力を持っていると思っている。</p>
--

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所の前は、市民の憩いの場である梅林公園がある。日常は、地域住民の散歩コースであり、四季折々の花が咲き、多くの市民が訪れている。利用者も、日常の散歩コースとして利用し、地域住民と新しい馴染みができ、気軽に会話するなど、最適な環境である。小人数7人が生活しており、親戚や知人の少ない利用者も多い。職員は、家族的な環境を整え「老いを笑うな、いずれ私も通る道」の理念に沿い、笑い声の絶えない生活を支援している。利用者が、最後まで安心して過ごせる、優しさあふれるグループホームである。</p>
--

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求め ていることをよく聴いており、信頼関係ができてい る (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域 の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係 者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理 解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく 過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価票

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「老いを笑うないずれ私も通る道」を玄関正面に掲げて、管理者、全職員、この理念を共有し、利用者の方へのサービスを行っている。	「老いを笑うな、いずれ私の通る道」を理念としている。職員や訪問者の目のつく玄関に理念を掲げ、日頃の暮らしのなかで振り返り、共有している。利用者の笑顔を引き出し、心休まる暮らしを実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業者は地域との繋がりを持つため、自治会に入会し、自治会の行事はもとより、利用者の方の身体に応じ、参加できるよう考えながら、町内との交流に心掛けている。	自治会に加入し、清掃活動や年末年始、葬祭などで、つき合いをしている。自治会長が交代しても、地域との交流が継続できる仕組みを作っている。近隣との関係を深め、地域の一員として、受け入れられている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	一人暮らしの人、昼間一人で過ごされている方に、施設に遊びに来て頂けるよう町内の民生委員の方にも、声掛けの協力を御願いし、事業所としては、受け入れも万全だが、まだ、「認知症」ということが、他の病気と勘違いされている所もあるようで、理解していただけるまでは、時間がかかりそうだ。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(市)介護保険課、生活福祉課、包括支援センターも、今年度から変えられて、私共事業所としては、少し戸惑いもあったが、民生委員さんにも協力を頂きながら、今年度も前年度までと、同様皆々様に相談しアドバイスを受けながら施設のサービスの説明をしながら取り組んでいる。	運営推進会議を隔月に開催し、介護保険課、地域包括支援センター、民生委員が出席している。ホームの実態を報告し、出席者から指導や支援を受け、利用者サービスにつなげている。	自治会長に、ホームの実情を理解してもらえるように、運営推進会議の議事録を届けることを期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議にて、質疑応答をさせて頂き、アドバイスを受け、利用者の方へのサービスに取り組んでいる。又今年度は当施設の改築の予定もあり、市役所に行く機会も多く、町内の民生委員さんには今までと変わらず、色々と相談に乗って頂き、皆様には協力頂いている。	日頃から困難事例や法改正などで、行政のアドバイスを受けている。身寄りのない利用者が多く、家族が対応する事案についても、行政の指導や助言を受けている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設の玄関は、夜間は施錠するが、昼夜を問わず、人の出入りが分かるように、玄関には、センサーを設置している。已むを得ず拘束の必要が考えた場合には、主治医、家族の方との相談の上、当施設へ書類の提出して頂きます。	現在は、身体拘束が必要な利用者は無いが、場面を想定し、拘束や虐待の勉強会を行っている。言葉の拘束をしないケアについて、職員間で話し合い、優しい気持ちで接している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者、全職員が心掛けている。特に言葉使いには、注意するよう心掛けている。(利用者の方から誤解をうけないよう)		

岐阜県 グループホームひなたぼっこ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	管理者とほとんどの職員が理解できていると思う。成年後見人制度については、これまでも活用していたし、今後も必要性があれば、活用支援をしていく。事業所は職員に対しても学ぶ機会を持てるように支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、ご利用者及びご家族に対し、サービスの内容及び提供方法を重要事項説明書にて説明を行ない、質問を受け理解を得る。又改定等の際には文章にて郵送、来所の際に再度説明し、理解納得を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者、ご家族の来所の際に、ケア計画書に目を通して頂き、意見要望を聞くようにしている。口頭で言いづらい人の為には、玄関に苦情相談箱を設置し他重要事項説明書の中に相談受付をもらえる、外部の連絡先を記入している。	家族の訪問時に意見や要望を聴いているが、家族のいない利用者が多い。利用者の意見や要望には、常に耳を傾け、安心して生活が送れるように支援をしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月一度、代表者、管理者、ケアマネジャー全職員で会議を行い、意見提案を出し合い、代表者はそれを、今後の運営に反映させている。又利用者の方、個々のサービスのあり方についても議論する。	代表者は、月例の全体会議で、職員の意見・要望を聴いている。食事介助の工夫やケア全体の対応策などの提案を受け、改善につなげている。職員の勤務調整についても話し合い、運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者、管理者は同一人物である為、全項目を把握出来ていると思っている。全職員が働き易い職場であるようにと、常に考えるよう努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修希望の職員には、それに必要とする費用を事業所負担とし、出来る限り研修等を受け易いよう支援している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	特に交流の機会はないが、個々に交流はあるようだ。時々電話等で相談する事もある。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス導入の段階で、ある程度本人が意思疎通が出来れば趣味、特技、嗜好、要望を聞き、ご家族の方が、居られる方には、家族の方の意見も聞き、利用者の方の様子を見ながら、今後のサービスのあり方を考え、本人との良い関係作りを考えている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	可能な限り、家族の不安、要望、考えに耳をかたむけながら管理者、スタッフ一同、一緒に考えている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所前に、入院又は他の施設その他を利用されてる方には、それぞれの関係者の方々に話しを聞き、その後、本人、家族、又関係者の話を元に、施設代表者、ケアマネジャー、全職員と話を重ね、あらゆる方向性を考えながら、より良いサービス支援が出来るよう努める。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	施設を一軒の家と考え、職員は出勤時は「ただいま」退社時は「いってきます」の言葉が挨拶だと考えやってきたが、最近一部の職員であるが、使用しなくなっている事がある。代表者としては残念です。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の訪問時には、現在の状態説明、ケア計画の説明確認を行う。又遠方の方、面会が遠退いている家族の方には、電話又は手紙を郵送して、希望や意見を聞きながら、共に支えていけるようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまで同様、馴染みの方の面会の受け入れは可能である。最近一人の利用者の方へ友達の面会があったが、残念な事に、他の利用者の方への馴染みの方の面会はない。	独居の人が多く、馴染みの訪問者は少ない。ホーム内で、新しい家族のような関係を保っている。公園を散歩する老人と会話を楽しみ、再会を喜び、新しい馴染みとなっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	話しが出ることが多く、会話も聞かれる、関わり合い、支え合いも、見られるが、その反面、意地悪や、時には悪口も耳にする事がある。この様な時には、職員が間に入る事も有る。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	可能な限り、相談に応じるよう努めている。施設として相談されても判断できない場合は、せめて話しを聞くだけでも良いのではないかと考えている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思疎通、ある程度可能な人であれば、日常生活の会話の中で、思いや考えを聞きながら、意思疎通が困難な人であれば、表情、仕草等を見ながら、希望、意向把握に努めている。	職員へは、安心して心を開き、時には甘え、自分の思いや希望を打ち明けている。把握の困難な人には、優しく寄り添い、心の安まる暮らし方につなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に家族の方の話しを聞き(但し、入居させたい為に事実を話して下さない事も時々有り時々困る)ケアマネージャーの方や、生活歴、趣味、嗜好、特技等を聞き、利用者の方の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの毎日の状態を記録に残し、日々の状態の移り変わりを見ながら、利用者のその日の状態に合った過ごし方をしてもらう。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に一度、代表者、ケアマネージャー、職員全員が集まり、利用者の日々の記録、運営推進会議、家族の方の意見(現状では家族の方の事情により参加は出来ない)を元に、ケア計画を作成している。	利用者の現状や介護記録をアセスメントして、本人が暮らしやすいように、介護計画を作成している。職員の気づきや医師、ケアマネージャー等の意見を踏まえ、柔軟に見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録は、ファイルに閉じて、日々の様子がわかり易くなっている。家族の方に限って見ることを可能とし、相談、意見も取り入れながら介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の中にも、日々状態が変わる方、急変する方、さまざまな方が居る。その為常に、状態を把握し常態に応じた対応が出来るよう心掛けている。		

岐阜県 グループホームひなたぼっこ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設の前が梅林公園で、三月は、梅祭りや屋台での買い物、四月は桜、夏は施設の駐車場で「流しそうめん」「バーベキュー」近所の神社の夏祭りへ行く等楽しんでもらっている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族の方の希望があれば、可能(但し家族の方付き添いにて)施設としては、契約医院が有り、昼夜を問わず安心して医療を受けることができる。現在では、利用者の方の必要に応じて、歯科、整形外科も往診してもらう事もできる。	全員が協力医を望み、月に2回の往診と訪問看護を受けている。協力医とは、24時間の連絡体制を取り、歯科、整形外科の往診体制もあり、適切な医療を支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期的に訪問看護師の方が来て下さって、介護職員の気づき相談、意見を伝え、その事に関して、アドバイスを受け、利用者の方に不安を与えないように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院となった場合、入院先には、これまでの利用者の方の状況、状態の説明を行ない、入院中は面会、病院での経過を聞き、退院時、施設での受け入れが可能となった場合には、退院後も病院との関係を築きながら支援している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の時家族の方の考えを聞き、重度化した場合や終末期を向かえた場合には、主治医、家族、職員との間で話し合い、より良い支援が出来るように努めている。	入居時に利用者、家族に、重度化や終末期の対応について説明をしている。24時間医療体制の中で、できる限りの支援をしている。身内の協力と協力医の連携体制で、重度化・終末期に対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	月に一度の職員全員の会議の時に、急変、事故発生時の手当て対応が出来るように指導し、連絡体制を整えているが、より一層、職員一同対応の訓練を重ねたいと思う。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練の際に避難経路の確認、誘導方法、消火器の取り扱い方の説明を行ない、防災訓練の際には、ご近所の方(一部)家主さんの参加で外での訓練も行う。又今年度は施設の外に倉庫を設置し、緊急時の食料も確保している。今年度にはスプリンクラー耐震ラッチも設置する。	消防署の指導の下、夜間を想定して、火災訓練を実施している。避難誘導、初期消火、関係機関への通報などを行い、近隣からの協力も得ている。スプリンクラーの設置は、計画中である。	危機管理対策にもつながるため、スプリンクラー設置の推進に期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの性格を把握し、その人に合った対応に向け努力している。特にオムツ交換、排泄の声掛けの方法は、他の利用者の方に気づかれないよう考えて行っている。但し、本人が自分で他の利用者の前でも言われる場合は別です。	一人ひとりの人格を尊重した声かけを行っている。プライバシーに関する会話は小声で、介助は、あからさまにならないように対応をしている。利用者と職員は、家族のような関係で、思いが通じ合っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	現在利用者の方の身体状況に合わせて行っていたいしている事は、自分の部屋の掃除、新聞や買い物袋の折り畳み、食後の茶碗拭き(一部の人)テーブルに置くと得意な物に手を伸ばし、自発的に行動される。日によっては、はっきりと「いや」と言われる人も居る。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴、食事の時間は決まっているが、その他の事は、利用者の希望に添って、日々の生活を過ごせるよう心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	衣類は自分自身で選んでもらっている。歩行困難な方は、何を着るか用意をして、その中から選んでもらうようにしている。日によっては、自由に行動可能な人は、朝着たものと替わっている時もある。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	現在食事作りをする人はいない。後片付けは、身体的に無理な人、やりたくない人もいるが、何人かの方は、自分の食器、他の利用者の方の食器を運んで下さって洗った後の食器を拭いて下さっている。	職員と共に育てた野菜を食材にして、後片付けや食器拭きを手伝っている。職員も同じテーブルで食事を摂り、希望の献立を話題に、楽しい雰囲気づくりをしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量の記録、利用者の方の体調に応じては、水分チェックも行なう。食事は利用者の状態に応じて刻み食、ミキサー食、水分ロミ使用、水分補給は食事の時は勿論、以外は入浴後、10時、15時、頃行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎朝、夕、自分の歯、義歯、歯が無い方、それぞれに応じて、一人ひとりの利用者の方に職員の見守り介助の元で、口腔ケアチェックを行なっている。現在は歯科の往診もお願いして利用者の方によっては診ていただいている。		

岐阜県 グループホームひなたぼっこ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄のパターン、身体状況に応じて、ポータブルトイレ、夜間のみポータブル使用等、排泄の声掛け、見守りにより、自立支援を行っている。	個々の排泄パターンを把握し、トイレへ誘導し、自立を支援している。夜間は安全面に配慮し、ポータブルトイレを利用している。入居時の状態より、自立できるようになり、本人の自信につながっている。	トイレの段差に不便があり、改修の方向で検討をしている。快適なトイレの実現に期待したい。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物、散歩は勿論、ラジオ体操等の運動を行いながら、利用者の方の身体状況に応じた取り組みを行っている。改善困難な場合は主治医に相談する。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	身体状況、意思疎通困難な方は、入浴時間がほぼ決まってしまうが、可能な限り表情や声掛け等で本人の意思を確認している。意思疎通が出来る方はこれに限らず。	入浴は、週に3回を基本としている。浴室では、介助者とコミュニケーションを豊かに、ゆったりと時間をかけ、温泉のような気分を味わっている。	利用者の重度化に伴い、浴室の改修を予定している。その実現に期待したい。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	安眠、休息は一人の状況、状態に応じて、又室内の温度、湿度の調整を行い、気持ちよく安眠、休息が出来るよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師の方から、薬の説明を受けると共に、説明書も目を通し理解した上で、服用の支援と状態の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家族の方の話しや、職員との会話の中で、知ることにより、それぞれに応じた支援が出来る。家族のない方は面会もなく、代表者の休みを利用し外食等に行く事で楽しんでもらう事もある。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎年、公園の梅祭りは施設の行事になっている。公園の散歩は日常的にしているが、それ以外の外出の支援は、利用者の方の身体的問題も有り無理な事が多く、今後は出来る限り支援の方法を考えていきたい。	近隣の公園を日常的に散歩している。公園の様々な催しに出かけて楽しんでいる。地域には、祭りなどの行事が多く、個別に応じた外出を支援している。	



岐阜県 グループホームひなたぼっこ

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在の状況では、一人も所持されていない。隠されて場所が分からない「無くなった」又家族の方の希望等で、これまで以上に状況は悪くなっている。買い物に行く場合には、所持可能		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	支援する用意はあるが、身体的に無理な方が多い。家族のある方は面会も有り、施設では現在特には行っていない。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	場所に応じて季節の花を飾ったり、庭に野菜や花を植えたり季節を感じ取れるよう配慮している。又心地よく過ごしてもらえよう、室内の湿度、清潔光、臭気等には気をつけている。	共同の場が狭いため、隣の和室を共用することで、ゆったり寛ぐことができる。季節の花を飾り、手づくりの作品や写真を掲示している。風通しのよい部屋で、皆で語らい、安心して過ごしている。	台所の食器棚が不安定であり、危険が伴う恐れがある。倒壊の配慮に期待したい。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングで過ごされる方がほとんどで、リビング、居間にテレビを置き、今年度は、リビングのテーブル、椅子、居間のソファも新しくなり、利用者の方は、自由に過ごせるよう配慮している、又毎朝の新聞、雑誌等置くようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入浴時に家族の方との相談のうえ、出来る限り新しい物ではなく、これまで馴染まれ親しんだ物を持参して頂き、今までの生活と大きな変化が無いよう配慮している。	ベッド、整理タンスは事業所で設置している。使い慣れた布団や身の回りの小物類を持参して、落ち着けるように配置している。これまでの生活と違和感がないような工夫がある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お風呂場や、トイレには、分かり易いように目印を付け、施設の廊下は、リビング、キッチンと一直線になっている為、利用者の方は、職員の存在が分かりやすく、職員も利用者の方の行動が見ることが出来、安全安心である。		